

平成 22 年 3 月 16 日

## 「貨物鉄道のインフラ整備に係るグランドデザイン に関する検討会（第 2 回）」の議事概要について

（概要）

平成 22 年 1 月 6 日（水）に開催されました「貨物鉄道のインフラ整備に係るグランドデザインに関する検討会（第 2 回）」の議事概要を以下のとおり公表いたします。

（開催日時）

平成 22 年 1 月 6 日（水）14:00～16:00

（開催場所）

財団法人運輸政策研究機構 2 階会議室

（委員名簿）

別紙－1 参照

（議事概要）

別紙－2 参照

問い合わせ先：財団法人運輸政策研究機構 調査室 菅生、栗原 TEL：(03)-5470-8405
---

## 「貨物鉄道のインフラ整備に係るグランドデザインに関する検討会」

## 委 員 名 簿

- 野 尻 俊 明 流通経済大学法学部教授
- 岩 倉 成 志 芝浦工業大学工学部土木工学科教授
- 兵 藤 哲 朗 東京海洋大学流通情報工学科教授
- 二 村 真理子 東京女子大学現代教養学部国際社会学科准教授
- 北 條 英 (社)日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所主任  
研究員
- 中 崎 俊 一 (社)全国通運連盟専務理事
- 細 野 高 広 (社)全日本トラック協会専務理事
- 三 浦 充 男 日本通運(株)通運部長
- 坂 元 晃 ヤマト運輸(株)通運支店長
- 川 畑 昭 博 佐川急便(株)執行役員輸送開発部長
- 西 山 賢 治 (社)鉄道貨物協会理事
- 村 山 洋 一 日本貨物鉄道(株)常務取締役経営企画部長
- 飯 田 聡 日本貨物鉄道(株)投資計画室長
- 深 作 和 久 (財)運輸政策研究機構運輸政策研究所企画室副参事
- 大 塚 洋 国土交通省総合政策局環境政策課長
- 田 中 照 久 国土交通省政策統括官付参事官 (物流政策担当)
- 尾 関 良 夫 国土交通省政策統括官付参事官 (物流施設・複合物流担当)
- 玉 木 良 知 国土交通省鉄道局次長
- 松 本 年 弘 国土交通省鉄道局財務課長 (JR担当室長)

○ : 委員長

(敬称略・順不同)

貨物鉄道のインフラ整備に係るグランドデザイン  
に関する検討会（第2回）

議事概要

1. 日時 : 平成22年1月6日(水) 14:00~16:00
2. 場所 : 財団法人運輸政策研究機構 2階会議室
3. 出席者 : 岩倉委員、兵藤委員、二村委員、北條委員、中崎委員、細野委員  
三浦委員、坂元委員、川畑委員、西山委員、村山委員、飯田委員  
深作委員、大塚委員(代理出席)、田中委員、尾関委員、玉木委員  
松本委員(代理出席)

4. 議事概要

第2回検討会では、貨物鉄道の輸送力、輸送量、輸送需要の見通し、荷主企業からのニーズ等について事務局が説明し、各委員からご意見を頂きました。各委員からの主な発言内容は以下のとおりです。

- ・輸送力増強方策の検討に当たっては、今後の輸送需要の見通しを踏まえて、ボトルネックについて、具体的に整理する必要がある。
- ・輸送力増強方策の検討に当たっては、JR線だけではなく、民鉄線の活用等も視野に入れて検討する必要がある。
- ・貨物駅やオフレールステーションの整備を含めて、駅拠点のあり方について、検討する必要がある。
- ・需要が増加しても直ちにはインフラ整備が必要となるものではなく、インフラ整備しなくても良い方策を考えることが必要である。
- ・モーダルシフトを推進するためには、荷主から鉄道が選択されるよう、便利で安心して利用できる鉄道輸送サービスを提供することが必要である。